

《合同シンポジウムFAX申込案内》

東日本大震災で育まれたレジリエンス ～受け継がれるバトンについて～

【実施概要】

- 日 時 : 2021年11月30日(火) 13時～16時半
- 参加形態 : zoom ミーティング
- 対 象 : 今後も東日本で活動する方
今後大規模災害の発生が想定される地域の方
- 参加人数 : 100名程度
- 参加費 : 無料
- 主 催 : 特定非営利活動法人いわて連携復興センター
一般社団法人みやぎ連携復興センター
一般社団法人ふくしま連携復興センター
東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)
一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター

お問い合わせ: 022-797-6708 / 担当者: (一社)みちのく復興・地域デザインセンター浅野
※本事業は令和3年度復興庁被災者支援コーディネート事業により実施しております。

【内容】

今回の開催では時間軸に伴い、全体会1では過去の災害から受け取ったバトン、分科会では現在、全体会2では未来へのバトンについてディスカッションを実施します。

また、登壇者として東日本大震災以前の災害から活動されている支援者や被災3県の各々で活動している方々をお呼びし、3県の状況の共有や対話を行います。

全体会1	東日本大震災前の災害から被災地につなぎたかったバトンについて阪神・淡路大震災以降中心的に活動されていた支援者を招き、対話を行います。また、現在の東日本大震災のフェーズについて、以前の災害との相違がある点やそれらから学べるものは何かをディスカッションします。
分科会1	NPOの活動と役割の変化について議論します。これまでの取り組みの中で変化した活動やステークホルダーの変化について等を共有します。
分科会2	地域コミュニティ支援について議論します。被災3県における地域コミュニティの現状を把握し、今後の大規模災害時のコミュニティ対応について考えます。
分科会3	セクター間連携について議論します。その中でも社協との連携が震災復興過程の中でどのように災害対応力が向上し変動したのかについてお話頂きます。
全体会2	3つの分科会で話し合われた、つなぎたいバトンについて共有し、登壇者や参加者の今後の活動にもつなげていきます。

《合同シンポジウムFAX申込用紙》

東日本大震災で育まれたレジリエンス ～受け継がれるバトンについて～

【下記ご記入の上、022-797-6788までFAXお願い申し上げます。】

お名前	
所属組織	
メールアドレス	
電話番号	
当シンポジウムはどちらでお知りになりましたか？	
当シンポジウムへの申込理由をお教えてください。	
<p>【分科会】ご希望の分科会をお選びください。 (チェックをお願いします。)</p>	<input type="checkbox"/> 〈分科会1〉復興の過程とともに、NPOの活動と役割はどのように変化していくのか？ <input type="checkbox"/> 〈分科会2〉地域コミュニティ支援における一つの在り方～過去災害から見る地域コミュニティ支援の今後を探る～ <input type="checkbox"/> 〈分科会3〉震災復興過程におけるセクター間連携の変容と成果～社協とNPOの連携事例から～

※分科会は参加者様で自由にご移動いただけるようになっておりますが、ご希望を把握したく存じます。